

科目名称：	油画・日本画演習Ⅱ	
担当者名：	本山二郎・今村文男・山下和子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	8
授業の目的・テーマ		
洋の東西を問わず絵画芸術の伝統の中から、現代を表現するにふさわしい技法を実践的に学ぶⅡ。2年前期では描写力、構成力、発想力を一層強化するとともに、より専門的な技法の習得を目指します。油画では古典絵画の研究でグリザイユやグラッシーなどの技法研究、マチエール・メディウム研究など。日本画では小下図から本画への展開、岩絵具・絹本・箔の扱いなどを通して表現技法の幅を広げます。また、人物モデル制作では人体表現を学び、表現の応用力を身につけます。		
授業の達成目標・到達目標		
油画と日本画の専門用具の扱い方とそれぞれの表現方法への理解を深めて研究し、更なる技術の修得が出来ることを目標とします。また、自己表現の課題を探究し、積極的な制作活動を行うことを目標とします。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	ルーブリック	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			80	20	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》今村文男：日本画家活動	《経験年数1》 44年
	《内容2》本山二郎：油画家活動	《経験年数2》 21年
	《内容4》山下和子：油画家活動	《経験年数4》 19年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業への参加	課題の内容を理解して積極的に研究活動に取り組む	課題の内容を理解して興味を持って取り組む	課題の内容を理解できるように努力する	課題への理解と興味が低く、意欲的な取り組みが不足
表現方法の熟達	画材の特性を理解し、表現方法に見合った使い方を工夫できる	画材の特性と適切な表現方法を理解し、使い方に工夫を試みる	画材の特性と表現の方法に理解を深める	画材への理解が低く、表現に活用する方法への工夫の不足
研究する姿勢	自己の興味を表現に昇華する方法を模索し、積極的に制作する	自己の興味に気付き、制作として表現できるように工夫する	自己の興味を制作に表現できる方法を模索する	制作として自己の興味を表現する方法を探究出来ていない
作品の完成度	画材の特性を駆使して高い表現技術で自己の課題を表現する	画材に習熟し表現技術が秀で、自己の課題探究が表現される	画材特性を理解し、自己の表現方法への試みが表現される	画材理解と自己の表現探究が不足し、制作が迷走する

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 油画選択者：グリザイユ実習① 日本画選択者：講義 小下図/本下絵の制作方法①	油：古典技法について調べる 日：1年次の制作活動を振り返り、課題研究する	40分
第2週 油画選択者：グリザイユ実習② 日本画選択者：講義 小下図/本下絵の制作方法②	前週の制作の続きとなり、ポイントを押さえて制作が出来ているか確認すること	300分
第3週 油画選択者：グリザイユ実習③(グループワーク) 日本画選択者：地域をテーマとしたスケッチとクッキー①	油：完成までのプロセスを確認する 日：テーマに沿ったスケッチ計画を立てる	300分
第4週 油画選択者：油画のエスキース制作、発想方法① 日本画選択者：地域をテーマとしたスケッチとクッキー②	油：図書館での参考資料を研究 日：スケッチから課題を整理する	300分
第5週 油画選択者：50号大作制作実習① 日本画選択者：自由テーマ本画制作①	作品テーマを研究し、エスキース・小下絵を準備する	300分
第6週 油画選択者：50号大作制作実習② 日本画選択者：自由テーマ本画制作②	制作計画を立て、作品のテーマを掘り下げる	300分
第7週 油画選択者：50号大作制作実習③ 日本画選択者：自由テーマ本画制作③	完成に向けたポイントを整理すること 全体を意識しテーマを整理しておくこと	300分
第8週 油画選択者：模写実習① 日本画選択者：自由テーマ本画制作④	油：図書館で事前に資料を研究する 日：計画的な制作プロセスを組み立てる	300分
第9週 油画選択者：模写実習② 日本画選択者：自由テーマ本画制作⑤	油：作品の技法や素材資料を研究する 日：制作プロセス構築と素材表現研究	300分
第10週 油画選択者：美術モデル制作実習① 日本画選択者：自由テーマ本画制作⑥	油：人物表現の研究 日：制作プロセスの構築と素材表現研究	300分
第11週 油画選択者：美術モデル制作実習② 日本画選択者：自由テーマ本画制作⑦	油：人物表現の研究 日：制作プロセスの構築と素材表現研究	300分
第12週 油画選択者：美術モデル制作実習③ 日本画選択者：自由テーマ本画制作⑧	油：人物表現の研究 日：制作プロセスの構築と素材表現研究	300分
第13週 油画選択者：美術モデル制作実習④ 日本画選択者：自由テーマ本画制作⑨	油：人物表現の研究 日：制作プロセスの構築と素材表現研究	300分
第14週 油画選択者：夏季課題100号制作実習① 日本画選択者：地域をテーマとした構成作品制作①	油：大作制作に向け、エスキース準備 日：事前に地域テーマを研究する	300分
第15週 油画選択者：夏季課題100号制作実習②、版画実習 日本画選択者：地域をテーマとした構成作品制作② オーディションでのプレゼンテーション	油：大作制作プロセスの構築 日：事前に地域テーマを研究する	300分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、制作段階での課題を整理し、次回までの制作プロセスを組み立ててまとめること。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
全課題提出を原則とし、提出課題の良否およびオーディション審査[5月・7月]において評価する。
(80%程度)、課題への積極的な制作活動、問題解決への取り組みを評価として勘案する。(20%)

課題に対してのフィードバック

学習成果は『学習評価シート』によってフィードバックする。また、展覧会やコンクールなどへの作品発表活動に参加し、制作の意義と到達度を自ら実感する機会を設ける。

教科書・参考書

教科書は使用しない。必要な資料等は、授業の中で随時紹介する。